

# NEWS



## 特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

### 新体制で心機一転

厳しい暑さもそろそろ終わりを告げるかのように、赤とんぼが飛び交う頃になってまいりました。

皆様にはお変わりなくお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

さて5月29日には、2006年度総会も無事終えることができましたことを、ここにご報告致します。これも皆様のお力添えあってのことだと、心から感謝申し上げます。

今年度より事務局の強化を図り、しみん基金KOBÉも一新する所存でございます。これまで当基金の顧問をお願いしておりました今田忠氏を、新たに理事にご就任頂き、理事・事務局長として事務局を統括して頂くことになりました。

すでにご存知のように、今田氏は11年前の阪神・淡路大震災以来、NPO・NGO・ボランティア団体を支え続けて下さいました。実はこうした力強い支えがあってこそ、当基金も継続して取り組んでいくことができました。

今年度は、このような一新により、当基金の主たる事業である「市民団体への助成事業」への充実のためにも、関係者一同取り組んで参りたいと思います。

あじさいの花は、一つひとつのつぼみが身を寄せ、さらには放射線状に芽を広げ、見事に内と外がつながっています。こうしたあじさいの花のように、私ども一同も力をあわせ、市民活動のさらなる発展のために活動して参りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

しみん基金・KOBÉ 理事長 黒田裕子

#### 目次

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| ◆ しみん基金こうべ助成事業はじまる ----- 2                        | ◆ ぼたんの会 この一年を振り返って ----- 5  |
| ◆ 平成18年度総会報告・新理事の紹介 ---- 3                        | ◆ リサイクル寄付事業にご協力ください ----- 5 |
| ◆ はあ〜とふるふぁんど「ひょうごボランティア<br>あしすと」支援事業・受託報告 ----- 4 | ◆ 11年目のひとりごと ----- 6        |
|   | ◆ ご寄付をいただいた方々 ----- 6       |

## 平成18年度しみん基金こうべ助成事業はじまる！！

阪神・淡路大震災を契機に芽生えてきたボランティア活動を育てるために、「市民の手で、市民がつくる基金」として構想されスタートを切った当基金も、そのコンセプトを理解してもらい資金を集めるのに苦労の連続でした。市民一人ひとりの寄付に基づく市民活動への助成事業を、続けていくことの難しさを経験することになりました。

しかしながら、多くの人々の暖かい熱心なご支援によって、しみん基金こうべとしての助成事業を2年ぶりに再開できる運びとなりました。

その主旨は、当初と変わらず「神戸市を中心とする地域の市民団体による公益を目的とした活動に対して助成」するという一方で、広く市民社会の確立・存続にふさわしい草の根的市民活動を育み支援することを、その特徴としています。

今年度の助成総額は、300万円です。特定助成枠は、環境の保全を図る活動に限定されて総額100万円までとし、一般助成枠は、それ以外の分野で総額200万円までとします。いずれも、1事業について事業費総額の4分の3以内かつ上限50万円までとします。

助成事業のスケジュールは、右表の通りで、今年度も当基金の特徴である事前ヒアリング調査と申請団体によるプレゼンテーションに基づく公開審査会を実施します。

このとおり事業を実施できるのも、皆様からのご支援の賜物と感謝いたします。

### 平成18年度助成事業のスケジュール

- ① 8月21日(月)～9月8日(金)  
申請応募期間
- ↓
- ② 9月20日(水)  
予備審査(書類選考)
- ↓
- ③ 9月21日(木)～10月13日(金)  
現場ヒアリング調査
- ↓
- ④ 10月27日(金)  
公開審査会(場所:コミスタこうべ)  
助成先決定
- ↓
- ⑤ 11月上旬  
覚書締結・助成金交付
- ↓
- ⑥ 平成19年1月頃  
助成先活動現場調査
- ↓
- ⑦ 平成19年3月末  
助成対象期間終了

9月8日現在 52件の申請がありました

### 公開審査会にお越しください！

しみん基金こうべ助成事業の特徴のひとつが、申請団体による公開プレゼンテーションで審査を行い、助成先を決めることにあります。今回も下記のとおり要領で実施します。市民活動団体の活動内容を相互に知り合う絶好の機会でもありますので、皆様も是非ともご覧にお越しください。当日参加も可能ですが、できれば事前に参加お申し込みをお願いします。

◆ 申込方法: ①氏名、②所属、③住所、④電話番号、⑥Fax、⑦Emailを明記のうえ、下記宛にFaxかe-mailにてお申し込みください。

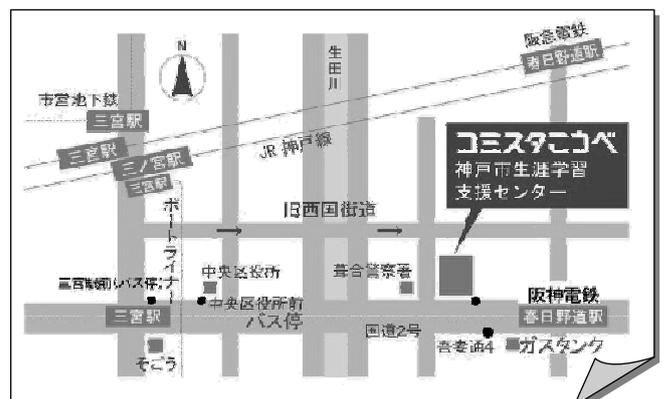
◆ 問合せ・申込先: しみん基金こうべ・事務局  
Tel: 078-230-9774 Fax: 078-230-9786  
e-mail: kikin@stylebuilt.co.jp

◆ 日時: 平成18年10月27日(金)13:00～17:00

※当日は12:30から受付を開始。

◆ 場所: 神戸市生涯学習支援センター・コミスタこうべ  
301号室(多目的室・大)

神戸市中央区吾妻通4丁目1-6(旧吾妻小学校)



## 平成18年度総会報告

去る5月29日(月)、しみん基金こうべ事務局にて平成18年度定時総会が開催されました。議案である①平成17年度の事業報告・決算、②平成18年度の事業計画・予算、③任期満了に伴う役員改選につきまして審議が行われ、以下の通り承認されましたのでご報告いたします。

平成17年度は、引き続きはあ〜とふるふあんど委員会より「ひょうごボランティアあしすと」支援事業の事務受託がありました。また、リサイクル寄付事業やぼたんの会の協働事業も引き続き行い、大口寄付もあって400万円を超える寄付金・募金収入がございました。

平成18年度は、10月に公開審査会を実施し助成事業を行います。また、引き続きはあ〜とふるふあんど委員会より「ひょうごボランティアあしすと」事業の事務受託をする予定です。また、今年度より「ひょうご・コミュニティ・ファンド・ネットワーク」事業の事務局も受託し、さらにリサイクル寄付事業やぼたんの会の協働事業も継続実施いたします。

最後に任期満了に伴い、以下の役員が替わりました(敬称略、50音順)

辞任:大賀重太郎、谷口昌義

新任:今田忠、佐藤典久、本悦

さらに、事務局も今田忠理事が事務局長に就任し、常勤スタッフも雇用し体制強化を図りました。

なお、決算・予算の要約は右表のとおりです。事業報告・計画や決算・予算の詳細は事務局にて閲覧できるようにしています。

### ◆平成17年度収支決算

〈経常収支の部〉		
【経常収入】	経常収入計	4,747,485
	会費収入	481,000
	寄付金・募金収入	4,061,974
	その他の収入	204,511
【経常支出】	経常支出計	1,244,235
	事業費	0
	管理費	1,244,235
	経常収支差額	3,503,250
	前期繰越収支差額	14,901,264
	次期繰越収支差額	18,404,514
〈正味財産増減の部〉		
【正味財産増加の部】	当期収支差額	3,503,250
【正味財産減少の部】		0
	当期正味財産増加額	3,503,250
	前期繰越正味財産額	40,183,314
	当期正味財産合計	43,686,564

### ◆平成18年度収支予算

【経常収入】	経常収入計	4,516,000
	会費収入	510,000
	寄付金・募金収入	3,100,000
	事業収入	800,000
	その他の収入	106,000
【経常支出】	経常支出計	6,176,000
	事業費	3,230,000
	管理費	2,946,000
	経常収支差額	-1,660,000

### 〈新理事の紹介〉

今田 忠 (いまだ まこと)



日本生命財団、笹川平和財団、阪神・淡路コミュニティ基金代表を経て、現在市民社会研究所・所長。日本NPO学会前会長。

佐藤 典久 (さとう のりひさ)



広島県宮島 厳島神社・権禰宜を経て、現在北野天満神社・宮司、社団法人神戸青年会議所・会員。

吉本 悦 (よしもと さとる)



百貨店、会計事務所、監査法人等の勤務を経て、現在神戸コンサルティングブレイン株式会社・代表取締役。

しみん基金・KOBÉ は2年間の冬眠から目覚めて活動を再開しました。しみん基金・KOBÉ は市民が市民活動を支える仕組みとしてつくられましたが、現在のところ正会員と賛助会員を合わせても100人に達していません。150万都市神戸の基金としては淋しい限りです。再び冬眠に入らないで済むように皆様方のご支援とご協力をお願いします。

この度、社団法人神戸青年会議所の会員として「しみん基金・こうべ」の理事を仰せつかりました。神戸青年会議所において神戸のまちに根ざした活動や、神職として神社を通し地域の奉仕活動などを日々させていただいていますが、特定非営利活動法人としての活動は初めての経験でございます。これから皆様方にご指導ご鞭撻をいただきながら微力ではございますが頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

これまでに、車椅子の方の外出支援や傾聴講座の開催、視覚障害者ゴルフのキャディーなど様々なボランティア活動に携わり、現在でも継続しております。

“いこうよ、いこうよ、なにがあるか見に行こうよ”と魅力あるしみん基金・KOBÉの活動が出来ればと思っております。

\*\*\* はあ〜とふるふあんど「ひょうごボランティアあしすと」支援事業・受託報告 \*\*\*

今年で第6回目となりますが、引き続き、兵庫県遊技業協同組合・ラジオ関西・神戸新聞事業社で構成される”はあ〜とふるふあんど委員会”より「ひょうごボランティアあしすと」支援事業の助成事務を受託しました。

2006年1月6日(金)から2月28日(火)までが申請受付期間でしたが、例年と比較して申請団体数が2割以上増加したのが、今年の特徴でした。(申請団体数:189件)”はあ〜とふるふあんど委員会”の審査を経て、別表の通り32団体に今年も支援金が交付されました。

◆平成18年度合格団体

No	団体名	No	団体名
1	詩吟ボランティアグループ せせらぎ	17	苔谷楽しい体操の会
2	南五葉ふれあい交流グループ	18	ちやいんど・じんちょうげ
3	点訳グループ ともしび	19	明朗会
4	ぐりぐらんど	20	わっしょい わっしょい
5	グリーン・ポエム	21	チーム WeB
6	障害者小規模作業所“ボレロ”	22	ひょうご福祉ネットワーク
7	リーディングフレンズ	23	のじぎく福祉会 のじぎく工房
8	子育て支援グループ あそぼ	24	(特)にじのかけ橋
9	MOA 美術館芦屋児童作品展実行委員会	25	はまなす
10	三田ラグビースクール	26	精神障害者小規模作業所 カフェ・ペガサス
11	神戸定住外国人支援センター	27	(特)障害者情報ネットワーク尼崎
12	西市民病院ボランティアグループ クローバー	28	神戸フリースクール
13	宅老所・「ひだまりハウス」	29	ドングリネット神戸
14	(特)でかけ隊	30	健康な体をつくる会
15	(特)兵庫県難聴者福祉協会	31	在日韓国青年同盟 兵庫県本部
16	音楽と笑顔の交流“ふれあい喫茶”	32	輪になろう芦屋親の会 ワップ会

～ 平成17年度の合格団体から寄せられたお便りをご紹介します ～

被災高齢者識字教室ひまわりの会

ひまわりの会では、学齢期に学ぶ機会を奪われたまま高齢になった非識字者で特に震災後読み書きができないで孤立することの多かった人々に、文字を学習する機会を提供することで、過去や現在を書き綴ることを通して生きる意欲を引き出す活動をされています。



字を知らないまま、学びの機会もなく労働を強いられた日々での子育て。参観日では記名のできない辛さややさしさ、高熱の赤ん坊を背負って医者に行っても住所、名前が書けないと診てもらえない過去を生きてきただけに、名前を書けるようになった喜びと安心はひとしおです。

「じはでるところにでたらねうちがある」という学習者の言葉に、私たちが気づかなかった文字のもつ力を改めて教えられるのです。一字でも多く覚えようと、暑い日も雨の日も杖をつけて足を引きずりながらもやってくる学習者。「なんぼ教えてもろうてもすぐ忘れる」と言いながらはにかむ笑顔は、まぶしいく華やいでみえます。

私たちスタッフの力はまだまだ及びませんが、作品展にもたくさんの方がつめかけて励ましてくださいました。また、報道機関も学習者の過去や現状を紙面で取り上げ社会に伝えてくださっています。おかげさまで、ほんの少しずつですが学習者一人ひとりの顔に自信が見えてきたようで、嬉しい限りです。

(被災高齢者識字教室ひまわりの会 代表 桂 光子)

## ぼたんの会・この1年間を振り返って

「ぼたんの会」とは、文化を通じて新しい社会貢献（寄付の文化）のスタイルの定着をめざし、2002年秋に地域の中で大切な役割をはたすように成長してきたNPO/NGOへのファンドレイジングを目的に15の団体に結成された協働プロジェクトです。

この1年間の活動を振り返りますと、まずは、2006年1月17日（火）神戸新聞松方ホールにて、「1・17メモリアル・コンサート詩の朗読と音楽の夕べ」を開催しました。コンサートでは、林昌彦さんのピアノ演奏をバックに「夢」「希望」「勇気」をテーマに公募した詩を竹下景子さんに朗読していただき、また板橋文夫さんの熱狂的なジャズピアノ演奏もあり、大震災の意味を想い返す有意義なひと時を過ごすことができました。

さらに、2006年5月18日（火）北野ガーデンにて、今年で4回目を迎えた「夜会・ぼたんの会」を開催しました。金関環さんのバイオリン演奏に酔いしれ、ヴィッセル神戸のメンバーと一緒にサッカーボールと戯れ、小山乃里子さんの軽妙な語り口とおいしい料理に囲まれて、250人以上の参加者はお洒落な一夜を愉しまれました。

また、2006年9月2日（土）から9月11日（火）までギャラリー島田にて、「ぼたんの会」としては初めての試みとなる「チャリティ美術展」を開催しました。

この1年間も多くの方々のご参加・ご支援があつて続けていくことができたことに心より感謝いたします。

### <お知らせ>

来る震災12年目の2007年1月にも、竹下景子さんをお迎えして「1・17メモリアル・コンサート詩の朗読と音楽の夕べ」を開催します。

日時：2007年1月17日（水）

開場 18:30～ 開演 19:00～

会場：神戸新聞松方ホール TEL:078-362-7111

- ・竹下景子さん詩の朗読 with 林昌彦さんピアノ演奏
- ・マリオネット（ポルトガルギターとマンドリンのよるアコースティックユニット）演奏

チケット：前売¥2,500、当日¥3,000 全席自由席

※チケットのご予約は、しみん基金こうべでも承っています。

## リサイクル寄付事業にご協力ください！

しみん基金こうべでは、ファンドレイジングの一環として昨年より提携企業と協働でリサイクル寄付事業に取り組んでいます。この事業には、古着と家電製品・家具の2種類のリサイクルがあり、それぞれ提携するリサイクルショップで引き取られた料金が「リサイクル寄付」として当基金へ寄付されるシステムとなっています。

2年を経過しまして、少しずつではありますが確実に

実績を積み重ねてきていまして、特に古着リサイクルについては、全国的にも目新しい取り組みのためか、遠方からのご協力も増えてきております。

身近なところからの市民活動への寄付ということだけでなく、ごみになるものを減らすという意味もございますので、皆様にもご協力いただきたいと思います。また身近な方々へご紹介いただければ幸いです。

### <お問い合わせ & ご協力方法>

◆古着：オレンジスリフティ TEL 078-858-7090  
〒657-0027 神戸市灘区永手町 3-1-208  
オレンジスリフティ 六甲店

- ・上記ショップへ持参または宅配便にて送付してください。
- ・送付の際は、メモにて「リサイクル寄付」とご記入の上、送料は送り主様にてご負担ください。
- ・お洗濯やクリーニングなど、一般的な処置を済ませていただいた上で、あまりに汚れているものや消えないしみのついてものは除いてください。再販売が可能なものと考えていただければ大丈夫です。

◆家具・家電製品：しみん基金こうべ事務局  
TEL 078-230-9774

- ・まずはお電話ください。提携先企業より係員を派遣して品物を確認させていただきます。
- ・家電製品につきましては、2002年以降製造のものしかお取り扱いできません。ご了承ください。
- ・再販売できるものが対象ですので、状態によってはご協力いただけない場合がございます。

11年目のひとり言  
～「木を植えた男」から～

フランス・プロヴァンスの田園に暮らした作家ジャン・ジオノの作品に「木を植えた男」という小説があります。舞台はフランスの山岳地帯、強い風のため土地が砂漠化し、井戸も枯れ、住民から見捨てられて荒廃していくある村がありました。ある日、そこを通りかかった若者が、その村に一人残り、黙々と木を植えつづけている老人と出会います。いつ実現するか分からない、恐らくは生きているうちに成果を見ることはないであろう目的のために、残された一生を黙々と捧げているその姿に若者は感動したのです。それから何十年か経って、中年の紳士となった若者は、再びこの土地を訪れました。すると、かつては荒涼たる荒地だった土地は、今は青々とした樹木が茂る森林地帯になっていたのです。あの老人は、いまはこの世にいない。しかし、樹林の中には生き生きとした動物の姿があり、帰ってきた人々の笑い声が響いている…。「木を植えた男」は、ただひたむきに事の結実を願ったものの成果の物語なのです。

NGO/NPOと呼ばれる市民活動が社会において本格的に動き始めて未だ10年余り、その活動は小さな苗木に過ぎません。土壌に合わず枯れていく苗木もあるでしょう。例え木が十分に育たず森にならなくても、私たちは、植えることを続けなければなりません。ひたむきに「市民活動という木」を植えることを。

「あまねく人々を思いやるすぐれた人格者の精神は、長い年月をかけてその行いを見定めて初めて、偉大さのほどを明かされるもの。名誉も報酬も求めない広く大きな心に支えられたその行いは、見るも確かなしるしを地上に刻んではじめて、気高い人格のしるしをも、しかと人々の眼に刻むもの」

しみん基金・KOBE 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

(2005年4月～2006年3月)

- ◆正会員 個人 34名 団体 5名
- ◆賛助会員 個人 31名 団体 9名
- ◆寄付・募金合計金額 4,061,974円
- ◆寄付者・募金一覧(敬称略・順不同)  
オレンジスリフティ、こうべリサイクルセンター、中島秀男、阪神高齢者・障害者支援ネットワーク、被災地 NGO 協働センター、ぼたんの会、バンブーCOOP、ニューウエイズジャパン、白水土郎、摩耶はるこ、神戸復興塾、兵庫県遊戯業協同組合、アトリエ Maya、KCC ライフプランセミナー、永六輔

皆様に、心よりお礼申し上げます。

次号の予告(2006年12月発行予定)

- ・平成18年度助成事業の結果報告
- ・しみん基金こうべへの寄付方法のいろいろ

「しみん基金・KOBE」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円  
団体会員 年間 10,000円



お申し込みは電話・FAX・メールなどで、お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

振込口座 三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892  
みなと銀行 本店営業部 普通 1597921  
近畿ろうきん 神戸支店 普通 4161854  
郵便振替 00990-5-157334  
口座名義 「しみん基金・こうべ」

◆ あ と が き ◆

今回は約1年ぶりのニュースレター発行のため、この1年間の活動報告中心の記事内容となりました。次号以降は、助成を受けた団体の活動紹介やこれからのに向けてのご意見なども記事にできればと思います。しみん基金こうべが発足以来7年間の経験を見つめ直し、その初心達成のため着実な活動を展開できるように頑張りますので、ご支援よろしく願います。(え)